レッスン：PYR. NO.31

テーマ：Lifeの多重性

KE05 No.9 16/03/05

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供たちよ。私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

　過去にアウタルキーにある絶対存在に関して、Lifeの多様性について話しました。そしてそれらのレッスンにおいて述べました…それは一つであるがその中には多くのスピリット・モナドセルフがある、数え切れないほどの無数のそれらがある、と言いました。

　それではLifeそれ自体のモナドとして、各スピリット・モナドセルフは多重性を現しているでしょうか？実際には違います。なぜなら、そうする理由がないからです。そうする特別の理由がないからです。他方、次のように言いました…絶対存在のワンネスは終わることなき黙想を行い、その黙想には特定の仕事があると。その仕事は、多くのスピリットセルフが現れの世界のなかで、存在の諸世界において、そして勿論最後には実存の諸世界において、それら自身の微細な部分を現す時に達成されるでしょう。

　さて　もしスピリットセルフが自己実現していなければ、その多重性を現す目的はありませんし、もしそれを現したなら、カオスが生まれることでしょう。

　ですから、それらはそれら自身から一つのスパークだけを放射します…人間のイデアを通じてか、または聖霊的イデアを通じて。そして人間のイデアを通じたこのスパークは魂のセルフエピグノシスであり、聖霊的イデアを通じたものは、特定のオーダー内のアークエンジェル的モナドセルフです。主なオーダーは7つあり、しかしさらに7つがあり、結果的に14のアークエンジェルのオーダーがあります。

　さて、まだ自己実現していない魂のセルフエピグノシスに戻ります。この魂のセルフエピグノシスは多重性を現しているでしょうか；それはLifeでしょうか？答えはノーです。そうする特別な目的がありません。そうしても何も達成されません。

　さて魂のセルフエピグノシスから微細な部分が実存の諸世界に入り、その結果として、そのLifeのスパークが現在のパーソナリティーを制限のなかへと活性化します。スパークは決して限界ある現れの中に入りません；制限ある現れの中に入るのは何であれ活性化されたものです。

　さて、現在のパーソナリティーとして、それはLifeの多重性を現すでしょうか？ある程度までは答えはイエスです。それはどのようにして起きるのでしょうか？レッスンのなかで学んだように、現在のパーソナリティーは二元性を使い、その二元性の結果として思考という表現があります。そして私たちが思考、考えを現すとエレメンタルが創造されると学びました。思考という現れの結果として無数のエレメンタルがあります。

　さて、もし誰か、ある特定のパーソナリティーについて考えると、直ちにそのパーソナリティーを築きます、私たちはエレメンタルを創造し、そのエレメンタルは勿論意識によって、そのパーソナリティーを活性化するLifeのスパークによって活性化されます。ですから、私たちが創造したものは生きています。

　もし同時に他のパーソナリティーのことを考えると、即座にその特定のパーソナリティーについても同じことが生じます。もし同時に10人のパーソナリティーについて考える能力があれば、同じように10人のパーソナリティー全員が活性化されます。それらのヒポスタシス（＊状態）は創造物ですが、それらの現れ、表現は創造物ではありません；それは私たちが多重性と呼ぶLifeの能力の結果としての現れです。

Page2

唯一の違いは、体は創造物であり、現れではないということです。現されたものはその特定のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークからであり、私たちが創造したものを活性化するのは私たちではありません。

　さて、サイコノエティカルな成長の結果として、他の場所にいる自分自身について考えることができると、即座に何であれ自分の体の同一体が築かれ、それを活性化するのは私たちです。もし私たちが自分自身のヒポスタシスを意味する2つの体、あるいはどれだけ多くの体であろうとそれらを創造する能力を得るなら、即座にそれらの体を活性化します。

　しかし、それがLifeの多重性の真の能力でしょうか？答えはノーです。真の能力とは他の同胞の人間達を助けるために必要なことを現すことです。言い換えれば、それは現在のパーソナリティーが自己実現に到達したときにのみ生じます；そしてそのパーソナリティーは自己実現した人として必要なだけいくつでも再形成された体を現すことができるのです、他の同胞の人間たちを助けるために。

　そしてレッスンで述べたように、それらすべての同一体はそれら全てが像であるゆえに、それらはそれぞれオリジナルなのです。なぜなら、それらが創造された特定の仕事のためにより小さくなることなく、Lifeは同時に全ての中にあることができるからです。それは実際にLifeの多重性の能力であり、実存の諸世界の中でのみ必要とされます。

　さて、魂のセルフエピグノシスに自己実現を与える自己実現した現在のパーソナリティーとして、その魂のセルフエピグノシスは今や確かにLifeの多重性を現すことができます。しかし、そうするための目的があるのでしょうか？わかりません。しかし、わかっていることは、

自己実現した魂のセルフエピグノシスが神に帰還するとき、言い換えればテオーシス（＊神との再合一）に到達したとき、その時に自己実現したスピリットとなります。

自己実現したスピリット・モナドセルフは今や現れの諸世界において、創造の諸世界においてその多重性を現します。そしてそれらすべての現れはドミニオンズ(Dominions)を通じて、惑星ロゴスあるいは太陽系のロゴスまたは銀河系のロゴス等としてその惑星を統治、司ります。

　なぜそういうことが起きるのでしょうか？レッスンのなかで述べたように惑星ですら生きています。存在し、実在するものは全てLifeそれ自体によって活性化されていると言いました。そして、実在するもの全てはLifeそれ自体によって築かれたといいました。何であれ築かれたもの、それは聖霊の働きを通じて築かれたのであり、何であれ実在するものを築き、維持しているのはアークエンジェルたちです。しかし実際にその体はもう一つのモナドセルフLifeに捧げられており、それは惑星ロゴスです。惑星ロゴスはロゴス的現れであり、聖霊的現れではありません。

　ですから、惑星を司っている惑星ロゴスがあり、自己実現したLifeのスパークとして特定の惑星の全ての人間に同調することができ、それは自然を管理しており、その特定の惑星上の全ての人間に何であれ自然が体験として提供するものを管理しています。そして勿論その惑星ロゴス、そのLifeのスパークのなかには全ての人間がそれに従っている全ての法則があります。ここで言う全ての法則とは聖なる慈悲、聖なる思いやり、原因・結果の法則その他です。

　私たちが惑星上で多くの大災害を体験する時、その理由は惑星ロゴスが“決断”するからです…人間が実際に類似の体験、レッスンを得るためにそれが起きる必要があると。

　さて、アークエンジェル、聖霊的現れには何が生じるでしょうか？存在の諸世界にいる時には多重性は必要ありません。しかし惑星、太陽系、銀河等を築き、維持するアークエンジェルのオーダーがあります。しかしまた、それらの体を彼らは彼らのLifeの息吹を通じて活性化します。彼らは動物界、鉱物界、植物界などのLifeの王国を、彼等のLifeの息吹によって活性化します。しかしまた、現在のパーソナリティーに、現在のパーソナリティーの現れに提供するために彼等が築く人間の身体もあります。

Page3

それらの体の中で彼等はその多重性を現すことができます。私たちの身体のなかで私たちには無数のミカエル、ラファエル、ウリエル、ガブリエルがいます。ガブリエルまたは他のアークエンジェルのオーダーとしてのモナドであれ、それがLifeの多重性の結果であろうとなかろうと、それは重要ではありません。それはその多重性を現している一つのモナドセルフの結果であり得ます。ですから、これが聖霊的イデアを通じた多重性に関して生じていることです。

　さて、アークエンジェルもまたいわゆるエンジェルと呼ばれているものを現しています。それは実際に永遠的な現れです。それは何か特別な仕事をするエンジェルを現し、その後にはLifeの特定のスパークの中に同化されるというものではありません。彼等は永遠的なものです。そして永遠的なものとして、彼等もまたLifeの多重性を現し、エンジェルはまたそれより下の現れを現しています。そして、このようなことがどんどん続き、最後には、否定的な体験を与えるLifeの最小の現れを司る多重性の結果としての現れもあります。

例えば、人間に問題をもたらす現れであれ、Lifeのどんな王国を通じたLifeの現れであろうと、それらは否定的な体験を与えます、つまり病気、ウイルスその他です。それらのためであろうとも、その特定のシステムを司る“誰か”がいます。なぜなら、それはシステムだからです；そのようにして聖霊のイデアを通じて多重性が現されています。

　真剣な探求者は他の同胞の人間達を助けるために自己実現を求め、Lifeの多重性を現すようになるべきです。そのような仕事を行っている不可視のヘルパーがいます。元型としてのイデアフォームの使用によるのではなく、完全に再形成されたサイコノエティカル体を使用して彼等の多重性を現しています。なぜなら、**他の同胞の人間達の苦しみを軽減することができるのはサイコノエティカル体だからです。なぜなら、肉体と直接に結びついているのはサイコノエティカル体だからです。**

　さて、自己実現した惑星があり、その惑星の全ての人類がそのサイコノエティカル体がスーパーサブスタンスの波動である高次ノエティカル体のなかで同化すると、彼等のサイコノエティカル体は失われ、彼らはもはや肉体を有するパーソナリティーを意味する別のサイコノエティカル体を創造することができません。

**それらのパーソナリティー達は以前に不可視のヘルパー達が現していたような多重性を現すのでしょうか？答えはノーです。しかし、彼等は物質化を通じて体を築くことによって多重性を現すことができます。いくつぐらいの体を築けるのか？数に限りはありませんが、それらは創造されたものであり、彼らが体を築き、エレメンタルを築きます。そしてそれらのエレメンタルを通じて彼等はほとんどの場合ガイダンスを与えます。彼等は苦しみを軽減することはなく、様々な惑星、様々な銀河等にいる人間達にガイダンス、導きだけを与えます。そしてそれらが宇宙人(extraterrestrials、地球外生命体)です。**

　実際、彼等は自己実現したLifeのスパークではありません。しかし、自己実現した人間の現れがあり、それは高次ノエティカル体を使用していると言う時、その現れは実際にLifeの本質を完全に表現していますが、しかし他の同胞の人間達の苦しみを背負うことはできません；そしてそのために、実際彼等には他の惑星を訪れる必要性がないのです。

　しかし、彼等は人間を物質化させることができ、あなた方は自分達と一緒に歩いている人間と同じような人間を見ることができます。それは本物に見えますが、しかしそれは実際にはエレメンタルです。他の人間達とまったく同じように振る舞いますが、しかし他の全ての人間と同じではありません。そのようなことは実際に起きるのでしょうか？答えはイエスです。このようなことは全ての惑星上で生じており、あらゆる時代を通じて起きていました。そしてこの地球上でも全ての人間が自己実現に到達するまではそのようなことが生じ続けるでしょう。これがLifeの多重性です。

　レッスンのなかで、誰かが肉体の死といわれる現象として亡くなり、誰かがその人のことを考えると、即座に私たちはその人を示す同一体を生み出し、その同一体はLifeのスパークによって即座に活性化されます。亡くなった特定の現在のパーソナリティーを活性化させるのです。

　人々が死んだ人を見たと言うのを聞く時；実際に見たのでしょうか？亡くなったその特定のパーソナリティーは、実存の波動のなかで愛する人々が自分を見たのに気づいているのでしょうか？答えはノーです。しかし、生きている人がそれら亡くなった人を見たのか否かというと、答えはイエスです。彼等（＊見た人）は（＊亡くなった人の）体を築いたのです、しかし彼等が築いた体は彼等が物質化したのです。今私が物質化と言う時、それは物質の波動を意味しません（＊固体としての体ではないということ）。そしてその体は即座にLifeのスパークによって、見た人の意識によって、その特定のパーソナリティーがそれに気づかずに活性化されたものです。

　何百万もの人々が同時にある特定のパーソナリティーについて考えると、彼等はその特定のパーソナリティーを意味する同一体を創造し、そして即座にその特定のパーソナリティーの意識がそれら何百万もの体を活性化します、そのスパークが小さくなることなしに。これもまたLifeの能力、Lifeの多重性の能力です。Lifeの微細なスパークでさえ、全創造界のみならず、全ての天体を同時に包み抱く能力があるのです。

　創造界にある無数の天体を、そして同時にそれら全体をも包み抱くことができるのです。これがLifeの能力です。

Q：地球外の（＊宇宙人の）エレメンタルについてもう少し話してくれますか？

K：それらは実際、自己実現した人間によって物質化されたヒポスタシス（＊ある状態にあるもの）です。そしてそれらの物質化は、特定の仕事を行うためにそれらを創造した人がプログラムした現れです。それらは永続するような創造物ではありません。

もしあなたが真の五感を使えば、彼等を認識することができます。それが人間ではなく、エレメンタル、創造物であることがわかります。

彼等は同一体です。なぜなら、彼等にはサイコノエティカル体がないからです。なぜサイコノエティカル体を持たないのでしょうか？高次ノエティカル体を使用する人間は考え、思考を現しません。彼等はディバインの意志によって即座に物質化します。彼等は思考を表現しないので、それゆえサイコノエティカル体を持ちません。

Q：それはつまリサイコノエティカル体を持たないということはフィーリング、気持というものもないのですか？

K：物質化した彼等は自己実現した人です。何であれ人間が表現するものは彼等も表現することができます。そして彼等はそれを自分達が創造したものに与えることができます。なぜなら、何であれ彼等が創造したものは実際に彼等とつながっているからです。何か特定の仕事を行うために何か、エンジェルを創造する人間は、そのエレメンタルはそれを創造した人とつながっています；そのようにして、それは必要な時に活性化されるのです。しかし、あなた方はそれがどのようにつながっているのかは見ることはできません。

　勿論、この現れの波動（＊実存の世界）では何であれ創造されたもの、それは思考、二元性の結果として創造されています。ですから、ここで創造されたものはマインドにおける低次の波動で創造されたものです。そして勿論、自己実現した人間がそれを行う時、創造する人は何であれその人が創造したもののバイブレーション、波動を物質のレベルまで下げることができます。

ですから、あなたが同じパーソナリティーについて非常に多くのエレメンタルを創造する時、実際にはそれは一つであり、あなたはいつでも同じものを活性化するのです。しかし、もし別のパーソナリティーが彼または彼女について考えていると、それは別のエレメンタルとなります。その場合もまた、その特定のパーソナリティーによって活性化されます。そのエレメンタルを活性化するのはその特定のパーソナリティーであって、それを創造した人ではありません。

　ですから、誰かが亡くなった誰かを見る時、彼等が見るのは彼または彼女です。なぜなら、エレメンタルはまったく同じだからです；なぜなら、考えを通じてサイコノエティカル体がその特定のパーソナリティーによって活性化され、エネルギーを与えられるからです。

そのエレメンタルは誰かがそれについて考えるのを止めるとエネルギーを失い、その結果もはやその特定のパーソナリティーによって活性化されることはありません。

Q：ある人が亡くなって、私たちがそれについて悲嘆しているとその人に影響を与えることになると言いますが、そうなのですか？

K：彼等が「実際に」いるそのステートでは、彼等はそのような波動を感じません。彼等は彼等自身のパラダイスを築きます；彼等は何であれネガティブなものによって影響を受けることはありませんが、しかし彼等の潜在意識のマインドに記録されます；なぜなら、私たちが築く体はそれらによって活性化され、その潜在意識のマインドにつながるからです。ですから、それは潜在意識のマインドに記録されますが、しかしその現在のパーソナリティーの現れに影響を及ぼしません。

　Page5

　現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークは決して眠りのステートに入ることはありません、決してありません。パーソナリティーが眠りのステートに入り、それゆえに肉体の背後に残されたものとのつながりがなくなり、そして目が覚めてからそれはまだ実存の波動の中にあると考えても、それはスパークが眠りの状態、ステートに入ったことを意味しません。

その特定のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークは決して取り込まれてしまうことはありません。眠りのステートに入るのはその現れ、表現だけです。

Q：人々が“死んだ人”と交流し、死んだその人だけが知っている秘密の情報を得たと言う場合、それはどのようなことですか？

K：あなたがその特定のパーソナリティーを創造し、あなたが創造し活性化したものを通じて、その特定のパーソナリティーの意識によって全ての情報を得るのです。全ての人間はそれらの能力を持っています；それは集中によります。それゆえ、愛する人を失った人が、亡くなった人を見たり、さらには話したりした、という話を聞くことがあるのです。説明したように、それはそれらの人々なのです、それは想像の結果としての何か、リアリティーではない何かではなく、；それはリアリティーなのです。

　しかし、煉獄や病院から逃げてきて物質界のエーテル層に入ってきた低い波動のエレメンタルには注意する必要があります。彼等は人々のエーテル・バイタリティーを利用するために人々をだまします。

レッスン　PYR31　エクササイズ１

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分自身を見て、自分の形の境界を感じます…あなたは今自分がいるこの部屋を完全に意識しています…

　さて、この部屋が徐々にホワイトブルーの霧のような光によって覆われていくのを見ます…部屋全体が今このホワイトブルーの霧のような光の輝きによって満ちています、あなたはこの輝きによって包まれているのを感じます…今あなたが感じているのは、自分の肉体が良好な健康によって包まれていることです…それを感じます…肉体の全ての原子、分子、そして細胞のなかにエネルギーを感じます…良い健康に抱かれているのを感じます…

　さて、別の輝きが徐々に入ってきて部屋全体を覆うのを見ます、そしてその新しい輝きからの影響に身をまかせます…あなたはホワイトピンクの輝きに包まれ、このホワイトピンクの輝きはあなたのサイキカル体に良い健康をもたらします…

　それでは徐々にこの部屋に金色の光が入ってくるのを見ます…そして今部屋全体を覆い、あなたはこの金色の光による影響に身をまかせます…それによってあなたのノエティカル体に良い健康をもたらします…

　今あなたはこれら3つの異なった色の輝きに包まれています…ホワイトブルー、ホワイトピンク、そして金色です…あなたの肉体に良い健康を願い、あなたのサイキカル体に良い健康を願い、ノエティカル体に良い健康を願います…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います…

　それではこれら3つの異なった色の輝きに包まれている状態に留まりながら、今あなたは目の前にあるプレゼンス（臨在）を体験しています、そしてこのプレゼンスは非常に輝かしい白ですが、同時に白のなかにホワイトピンクと金色のきらめきがあります…このプレゼンスを詳細にみることはできません、そこには人間のイデアフォームがあってあなたの前に立っています…

　その体（＊人間のイデアフォーム）の左手はあなたの胸に置かれ、右手はあなたの額に置かれています…この状態による影響を感じます…何であれ、あなたの前にあるこの状態によって与えられたものを感じます…

　それではあなたの現在のパーソナリティー全体の健康と正しい思考を願います…

　アガピそして最愛のお方からの祝福があなた、あなたの愛する人々、あなたの家庭、そして世界全体にあります…

　私たちは常に主、主の聖性に抱かれています。終わります。

K：もし私たちが誰かを助けたいと願えば、私たちはその人を考えることによってその人を築くことができます；勿論、効果を上げるためにはその相手を見ることができる必要があります…その人が良い健康状態にあり、元気に歩き、元気に行動している姿を。例えば、その人が正しい考えを表現したり、より良い行動を取ったり、その人の心を落ち着かせるために、その人に“影響” を及ぼそうとするなら、その人を意味する人間を（＊心の中で）築いて、その人に与えようとする助けに応じて光の輝きで包みます。そうです、私たちが誰かについて考える時、勿論ある程度までその人を助けることができます。白い色を使うのが良いでしょう、なぜなら白のなかには全ての色が含まれているからです。しかし、もし特に心を静めて落ち着かせるためにはホワイトピンクを使います。もしその人が肉体に痛みがあることがわかっているなら、その場合にはホワイトブルーを使います。しかし、何かを非物質化したり、または物質化したいのなら他の組み合わせがありますが、それについては話しません。

　いずれにしても、カラーセラピーは人間が考えるほど簡単ではありません。それゆえに、いろいろなシステムがそれぞれ違った色を使っているのです。

Q：もし誰かが私たちのことを考え、私たちについてのエレメンタルを創造するなら、それは私たちがそのエレメンタルを活性化するということですか？

K：そうです、あなたが気づかないうちに。

Q：人々が私たちのエレメンタルを創造することができ、そして私たちがそれにエネルギーを与えるのですね。しかし、もし自分自身及び他人について非常に多くのイリュージョンを抱いている場合、実際私たちはどのようなエレメンタルを生み出すのでしょうか？

Ｋ：いいですか、彼等があなたについて考え、エレメンタルを創造しても、それがあなたであるということではありません。彼等が彼等の好きなようにあなたを理解します。それはあなたの夢でもまったく同じです。（＊夢の中で）あなたはあることを体験しています、しかし自分の体験に応じて、眠りについた時の状態、ステートに応じて理解します。

Ｑ：低次の波動の実体について、私は混乱しています。なぜ彼等は逃げ出そうとするのですか？まず彼等は自分が死んでいることに気づいていません、そしてまたもし彼等が自分自身のパラダイスを築いているなら、なぜ逃げだそうとするのですか？

Ｋ：それは逃げ出そうとするのではなく、彼等は物質に魅惑されています。彼等の波動は低く、そして物質に魅惑されているそのようなパーソナリティーなので、彼等が逃げ出すと、人間であれ動物であれそれらの肉体をつかもうとするのです。そしてテンカンという現象が起きます。子供や大人が高熱になると痙攣が起きて、肉体とサイコノエティカル体のつながりが弱くなります。それはテンカンではなく、つながりが弱くなるのですが、高熱の結果として痙攣が生じるのです。これが実際に起きていることです。煉獄から逃げ出した低い波動の現在のパーソナリティーが誰かの肉体を得ようとするのです。そして肉体を“所有”している現在のパーソナリティーは自分の身体を守ろうとします。他の侵入者によって肉体を所有されないように防御します。これが実際に起きていることです。その防御の反動として高熱または痙攣、あるいはその両方が起きています。

Ｑ：麻薬を使用している人は諸体の間のつながりを失う結果、幻想を抱くようになります。それは彼等が物を見たり感じたりするときに、所有することに敏感であるということですか？

Ｋ：ある意味ではそうですが、しかし麻薬の場合にはアンバランスは肉体とサイコノエティカル体の間だけでなく、サイキカル体とノエティカル体の間のアンバランスもあります。そしてこれは最悪の状態です。なぜなら、それはまた精神分裂病につながるからです。

EREVNA PYR 31 KE05L09/05/030/02